



あすか野小だより NO.3

☆☆☆ 一人ひとりが輝く学校 ☆☆☆

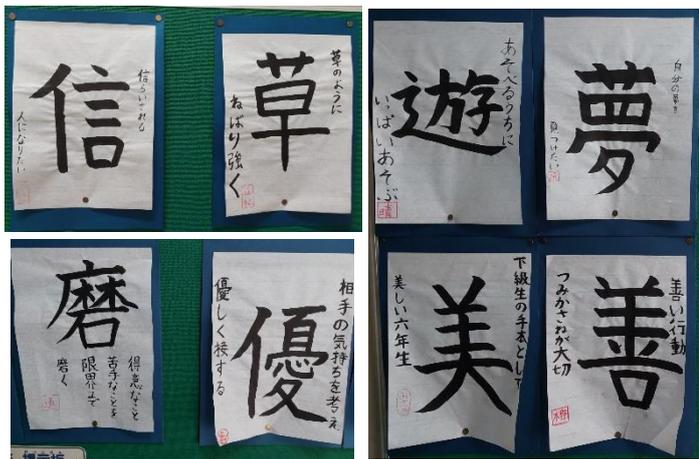
生駒市立あすか野小学校
学校だより 2024.5.30

新緑と共に子どもたちも輝きを増して

新緑が陽光でまぶしく輝いています。新年度が始まって2か月が過ぎ、子どもたちもすっかり新しい学年・学級に慣れ、その活躍はまぶしい限りです。

とりわけ6年生は、最高学年として1年生のお世話や委員会活動などで、活躍しています。今年度初めての習字の時間には、一人一人が目標とする漢字を、丁寧に書きあげました。「**善い行動は積み重ねが大事**」「**相手の気持ちを考え、優しく接する**」「**下級生の手本として美しい6年生に**」など、添えられた一言にも個性が光っています。**6学年の目標は、子どもたちの意見をふまえて「挑む」**に決まりました。「**トライ&エラー**」です。失敗を恐れず、あらゆることに挑戦するとともに、最高学年としての自覚と責任をもって学校を引っ張ってくれることを期待しています。ご家庭・地域の皆様方の応援よろしくお祈りします。

なお、習字は1階廊下・新館階段の掲示板や各教室に掲示されていますので、来校の際にご覧ください。



年度当初から、入学式の準備のために、体育館の設営や教室の飾り付けをする姿、立候補してくれた登校リーダーが優しく見守りながら1年生を連れてくる姿に成長を感じます。1年生の保護者の方からも感謝の声をいただいています。



5・6年生が力を合わせて委員会活動



5月8日・22日のあすか野タイム(8:35~8:50)に委員会紹介集会が行われ、各委員会(運営、園芸、集会、給食、保健、広報、図書、飼育、体育、美化、放送、生活)の代表が、今年度の活動方針・内容を発表しました。よりよい学校にするため、5年生も6年生に教えてもらいながら、いきいきと活動しています。



給食委員会は毎日
ご飯ケースの整理や
コンテナの移動などを
手際よくこなしています。

飼育委員会は、めだ
かや金魚のえさやり、
さわがにの世話を欠
かさず行っています。



「春といえば」・春の詩に心が弾みます

国語で学習した「春の詩」が教室に掲示されていたので少し紹介します。「春」のイメージについて全体で意見を出し合ったあと、一人一人がイメージマップで考え、言葉をつむいでいきました。詩は日記と違って「言葉を短くする」「リズムよく書く」「大事な言葉は繰り返す」などを意識すると、楽しく書くことができます。子どもの感性は素晴らしいですね。

春
サクラひらひらちやうとていく
ウグイスはホケキョと鳴いている
トカゲはニヨロニヨロにげている
新一年生が入学し
にぎやかにした四月中旬
私はにこりと笑って
春の様子をうかがった
「ひらひら」
「ホケキョ」
「ニヨロニヨロ」
「にこりと笑って」

春になるよと生えてくる
一日に一メートル
のびるらしい
だから早く食べないと
竹になってしまう前に

春のよるこびい
池へとつりいたららした
大きなえものがたくさん
春はよるこびい
修了はかなしいけれど
新友だちいっぱい
楽しはよるこびい
楽しいこといっぱい

